

厚生労働省、「勤務間インターバル」導入企業に助成金 長時間労働を是正

ツイート

いいね! 15

LINEで送る

(2016/12/7 05:00)



AD

An advertisement for the Hitachi Miniscope TM3030 Series. It features a blue and black Hitachi Miniscope device on the left and a laptop displaying a microscopic image on the right. The text 'HITACHI Inspire the Next' is at the top right. Below it, 'Miniscope® TM3030シリーズ' is written in large white letters. At the bottom, it says '卓上顕微鏡のパイオニア。世界販売台数3,000台突破!' (Pioneer of desktop microscopes. World sales exceed 3,000 units!). At the very bottom, it says '日立ハイテクノロジーズ' (Hitachi High Technologies) and '詳しく見る▶▶' (Learn more ▶▶).

厚生労働省は、終業から始業まで一定の時間を空ける勤務間インターバルを導入する中小企業を対象に、経費の一部を支給する助成金制度を創設する。長時間労働を是正する中小企業の自主的な取り組みを支援する。2016年度中に申請の受け付けを開始し、17年度から申請の承認を開始する計画だ。政府は働き方改革と生産性の向上に取り組むことを柱とした「一億総活躍社会」の実現を重点課題と位置付けている。

新設する助成金制度「職場意識改善助成金（勤務間インターバル導入コース＝仮称）」は導入にかかる費用の4分の3を助成し、上限は50万円を予定する。具体的な助成対象として、就業規則などの作成や変更にかかる費用、職場意識を改善するための研修費用を想定する。さらに労務管理用機器の導入・更新費用なども含める計画だ。

長時間労働は生産性の低下を引き起こすだけでなく、脳・心臓疾患や精神疾患の発症リスクが高まる懸念もある。社員の疲労回復が期待できる勤務間インターバルの導入を進め、過労死の防止にもつなげていく。

(2016/12/7 05:00)